



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社ファミリー 上場取引所 東
 コード番号 8298 URL http://www.cardealerfamily.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西條 徳三
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 清水 貴志 TEL 043-284-1111
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	6,587	△7.9	329	△10.1	330	△9.2	221	△3.3
29年3月期第2四半期	7,151	7.7	365	△1.7	364	△0.9	229	△7.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	39.57	—
29年3月期第2四半期	40.94	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	12,191	5,824	47.8	1,039.25
29年3月期	11,697	5,648	48.3	1,007.86

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 5,824百万円 29年3月期 5,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
30年3月期	—	0.00			
30年3月期（予想）			—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,200	0.8	700	0.5	700	0.8	400	1.2	71.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	6,529,114株	29年3月期	6,529,114株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	924,877株	29年3月期	924,857株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	5,604,251株	29年3月期2Q	5,604,257株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費に力強さが無いものの、企業収益の改善を下支えとして景気は緩やかな回復基調となっております。しかしながら、北朝鮮をめぐる地政学リスク、中国をはじめとする新興国の成長鈍化、米国の保護主義的な政策動向等の世界経済に及ぼす懸念材料も多く、日本経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

国内の第2四半期累計期間の新車販売は、前年同期比7.7%増の2,482千台となりました。特に、軽自動車が前年同期比15.1%増の874千台と販売台数を伸ばし、総販売台数に占める割合は35%の状況となりました。また、当社の属する外国メーカーの第2四半期累計期間の新車販売台数は、前年同期比1.7%増の147千台と前年並みとなりました。

このような状況下、当社では、欧米10ブランドを取り扱うことができるメリットを最大限発揮し、お客様に最適なお車を提供できるように努めるとともに、不動産事業、発電事業による多角化経営でより安定的な収益確保に取り組んでまいりました結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高65億87百万円(前年同期比7.9%減)、営業利益3億29百万円(前年同期比10.1%減)、経常利益3億30百万円(前年同期比9.2%減)、四半期純利益は2億21百万円(前年同期比3.3%減)となりました。

事業のセグメント別の状況は下記のとおりです。

(車両販売関連事業)

車両販売関連事業におきましては、ショッピングモール等での出張展示会の回数を増やすなど、新規顧客の獲得、買替への取り組みを積極的に展開しましたが、輸入車各ブランド間による顧客獲得競争の激化は変わらず、また、国産車との競争もあり当社の取扱いブランドの販売が振るいませんでした。

その結果、売上高は、64億61百万円(前年同期比8.0%減)、セグメント利益は2億46百万円(前年同期比15.5%減)となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、本社、成田店、西船橋店、市川店に併設する賃貸マンションにおいて、入居率の維持・向上に努め、また、旧野田店跡地をスーパーマーケット運営会社へ貸し出したことによる地代収入も加わり、売上高は72百万円(前年同期比65.1%増)、セグメント利益は50百万円(前年同期比76.5%増)となりました。

(発電事業)

発電事業におきましては、昨年10月に館山太陽光発電所をファミリー商事に事業譲渡したことから、売上高は53百万円(前年同期比36.3%減)、セグメント利益は32百万円(前年同期比29.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ4億94百万円増加し121億91百万円となりました。これは、商品が1億58百万円、未収還付法人税等が1億30百万円減少した一方で、現金及び預金が2億87百万円、建設仮勘定が6億76百万円増加したことが主な要因であります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ3億18百万円増加し63億67百万円となりました。これは、長期借入金が4億23百万円増加したことが主な要因であります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ1億75百万円増加し58億24百万円となりました。これは、四半期純利益を計上したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月11日付にて発表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、業績見通しにつきましては、様々な予想値と異なる場合があります。今後重要な変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	610,010	897,258
売掛金	472,168	392,320
商品	2,255,196	2,097,165
部品及び用品	81,185	94,713
販売用不動産	13,077	13,077
繰延税金資産	80,243	28,809
未収還付法人税等	130,281	—
その他	243,779	256,290
流動資産合計	3,885,943	3,779,635
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,038,305	1,993,196
機械装置及び運搬具(純額)	339,083	319,834
土地	3,968,815	3,386,252
賃貸不動産(純額)	675,931	1,245,601
建設仮勘定	344,980	1,021,069
その他(純額)	113,878	111,738
有形固定資産合計	7,480,993	8,077,693
無形固定資産	20,179	19,168
投資その他の資産		
投資有価証券	84,490	91,213
長期貸付金	36,957	34,426
差入保証金	83,478	83,482
その他	105,166	105,617
投資その他の資産合計	310,092	314,739
固定資産合計	7,811,265	8,411,601
資産合計	11,697,208	12,191,237

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	756,458	474,504
短期借入金	2,632,818	2,552,800
未払法人税等	—	67,604
賞与引当金	11,940	10,720
その他	467,629	627,351
流動負債合計	3,868,846	3,732,979
固定負債		
長期借入金	1,911,597	2,335,197
役員退職慰労引当金	40,542	41,990
資産除去債務	8,394	8,447
繰延税金負債	60,691	59,149
その他	158,816	189,268
固定負債合計	2,180,042	2,634,052
負債合計	6,048,888	6,367,032
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,387,297	1,387,297
資本剰余金	815,014	815,014
利益剰余金	3,628,304	3,799,645
自己株式	△200,842	△200,850
株主資本合計	5,629,773	5,801,106
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,545	23,098
評価・換算差額等合計	18,545	23,098
純資産合計	5,648,319	5,824,204
負債純資産合計	11,697,208	12,191,237

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	7,151,647	6,587,688
売上原価	6,054,140	5,528,768
売上総利益	1,097,506	1,058,919
販売費及び一般管理費	731,545	729,917
営業利益	365,960	329,001
営業外収益		
受取利息	483	430
受取配当金	858	883
受取保険金	1,229	5,579
その他	3,654	2,434
営業外収益合計	6,225	9,326
営業外費用		
支払利息	7,947	7,494
営業外費用合計	7,947	7,494
経常利益	364,239	330,834
特別損失		
固定資産除却損	77	7,680
減損損失	28,274	—
特別損失合計	28,351	7,680
税引前四半期純利益	335,887	323,153
法人税、住民税及び事業税	129,763	53,652
法人税等調整額	△23,297	47,722
法人税等合計	106,466	101,374
四半期純利益	229,421	221,778

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。